

B

日付： 年 月 日

氏名： _____

計算をしましょう。

所要時間

分

秒

$71 + 24 = (\quad)$	$53 + 8 = (\quad)$	$69 + 4 = (\quad)$
$28 + 5 = (\quad)$	$93 + 9 = (\quad)$	$37 + 3 = (\quad)$
$19 + 9 = (\quad)$	$26 + 12 = (\quad)$	$89 + 6 = (\quad)$
$84 + 8 = (\quad)$	$42 + 8 = (\quad)$	$56 + 5 = (\quad)$
$36 + 4 = (\quad)$	$87 + 7 = (\quad)$	$32 + 97 = (\quad)$
$48 + 7 = (\quad)$	$34 + 8 = (\quad)$	$72 + 8 = (\quad)$
$97 + 5 = (\quad)$	$80 + 65 = (\quad)$	$17 + 6 = (\quad)$
$76 + 5 = (\quad)$	$15 + 7 = (\quad)$	$65 + 8 = (\quad)$
$18 + 48 = (\quad)$	$59 + 1 = (\quad)$	$57 + 36 = (\quad)$
$27 + 7 = (\quad)$	$98 + 4 = (\quad)$	$96 + 7 = (\quad)$
$44 + 9 = (\quad)$	$78 + 3 = (\quad)$	$39 + 9 = (\quad)$
$58 + 2 = (\quad)$	$67 + 7 = (\quad)$	$69 + 53 = (\quad)$
$44 + 81 = (\quad)$	$24 + 9 = (\quad)$	$46 + 6 = (\quad)$
$68 + 9 = (\quad)$	$93 + 39 = (\quad)$	$23 + 8 = (\quad)$
$99 + 1 = (\quad)$	$77 + 9 = (\quad)$	$55 + 6 = (\quad)$
$85 + 9 = (\quad)$	$18 + 2 = (\quad)$	$88 + 3 = (\quad)$

日付： 年 月 日

氏名： _____

次の文を読みながら、『さ・し・す・せ・そ』すべてに○をつけ、その数を下に書きましょう。

むすこが、ははおやのきにいりのよめをもらいました。はたらきもののよめで、ははこともによるこんでいましたが、よめがふさぎこむようになりました。しゅうとめが、しんぱいしてたずねると、「へをしたくてこまっている」とこたえたので、へをさせると、おおきなへをぼかーんとやって、しゅうとめをふきとばしてしまいました。そこで、よめをかえすことになり、さとへおくとちゅう、なしのみをとろうとしているもめんうりにあい、よめのへでとってやり、おれいにうまさんと、にもつみつつをもらいました。よめをかえすのがおしくなったむすこは、よめをつれもどし、へをたれるへやをつくってへひりよめとしあわせにくらしました。

答え

こ

次の詩を、大きな声で読みましょう。

夏の日の歌

中原中也

青い空は動かない、

雲片一つあるてない。

夏の真昼の静かには

タールの光も清くなる。

夏の空には何がある、

いちらしく思わせる何かがあ、

焦げて凶太い向日葵が

田舎の駅には咲いている。

上手に子供を育てゆく、

母親に似て汽車の汽笛は鳴る。

山の近くを走る時。

山の近くを走りながら、

母親に似て汽車の汽笛は鳴る。

夏の真昼の暑い時。



日付：

年

月

日

氏名：

次の詩の、□になっている部分を書きましよう。

夏の日の歌

中原中也

青い□は動かない、

□□二つあるでない。

夏の真昼の□かには

タールの光も□くなる。

□の空には何がある、

いちらしく思わせる何がある、

□げて図太い□□が

□□の駅には咲いている。

上手に子供を□てゆく、

母親に似て汽車の□□は鳴る。

山の近くを走る時。

山の近くを走りながら、

母親に似て□□の汽笛は鳴る。

夏の□□の□い時。



B

日付： 年 月 日

氏名： _____

左と同じように、点と線を結びましょう。

